

大規模担い手農業者との「継続的な交流」による信頼関係の構築

地域の農業者と継続的に交流できる関係を構築することで、農政に関する意見・課題を把握し、必要な各種支援・情報提供を行い、信頼関係のもと「現場ニーズに合った農政」を着実に推進。

○ 施策分類

担い手

○ きっかけ・背景、課題の把握

大規模土地利用型農業を展開する地域の中心的担い手と日頃交流する中で、継続的に交流できる関係構築のために意見交換、情報提供の場を持つことが必要と考え、平成30年度より各種交流を開始。

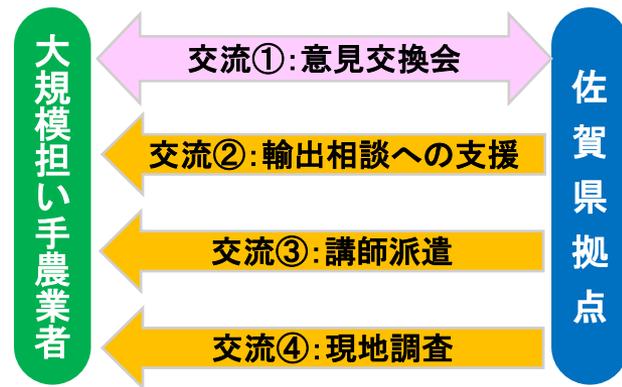
○ 取組の内容

- ・ 交流①：定期的な意見交換会の開催（農業者 ↔ 県拠点）
テーマ毎に意見・課題、対応策について意見交換を実施。
特に関心が高いテーマは農地の集積・集約化、人材確保。
- ・ 交流②：輸出相談への支援（農業者 ↔ 県内輸出促進ネットワーク）
県内輸出促進ネットワークにより、初めて輸出する際の輸出先国の選定や輸出手段等をアドバイス。各機関が主催するセミナー及び商談会等に関する情報を随時提供。
- ・ 交流③：講師派遣（農業者の集まり ↔ 県拠点）
農業者の集いで農政に関する情勢報告などにより情報提供。
- ・ 交流④：現地調査（農業者 ↔ 県拠点）
農業者の抱える問題点を解消するため、ほ場の排水対策や法面整備、農業機械や農産物保管倉庫の現状等、現地で営農上の工夫・課題を把握して事業活用等を検討し支援。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・ 継続的に交流し、意見交換、情報提供を行うことで信頼関係を構築。
- ・ 様々な交流を通じて共通認識を持ち、「現場ニーズに合った農政」を着実に推進。

取組の内容



R5年10月 意見交換会の様子（右奥8名が農業者）